

議員定数に関するパブリックコメントの取りまとめ

○意見募集期間

令和4年10月7日(金)～11月7日(月)

○意見提出件数

62件(持参:23件・郵送:7件・FAX:13件・ホームページ:19件)

○集計結果

質問1：あなたの性別を教えてください。

男性:34人 女性:28人 その他:0人

質問2：あなたの年齢を教えてください。

10代:0人 20代:0人 30代:1人 40代:4人 50代:6人 60代:8人
70代:32人 80代:9人 90代:0人 100歳以上:0人 無回答:2人

質問3：生駒市議会の活動について、どこから情報を得たことがありますか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

回答	件数(件)	割合(%)
いこま市議会のうごき(議会報)	47	35.9
市議会ホームページ	22	16.8
議員からの発信	44	33.6
市民懇談会	13	9.9
市議会の情報を得たことがない	3	2.3
無回答	2	1.5

質問4：生駒市議会の活動（市民意見を把握し市政に反映すること、行財政が適正に運営されているか監視すること、政策を立案すること）に満足されていますか。

回答	件数(件)	割合(%)
満足	1	1.6
やや満足	8	12.9
不満	19	30.6
やや不満	29	46.8
わからない	3	4.8
無回答	2	3.2

質問5：質問4の選択肢を選んだ理由をご記入ください。

1. 満足

○いこま市議会のうごきを読んでいると活動状況が把握できます。同時に議員定数が削減されても議員活動が変わらないと感じる。仮に議員定数が半分になれば、同じ議会期間でそれぞれが2倍の発言時間が得られます。

2. やや満足

- 行財政の立案、決定、執行を実行されている現状で問題ない。
 - ・「広報いこま」と一緒に届けられる「いこま市議会のうごき」をいつも拝見しています。
 - ・各議員は質問を通じて活動の方向を示されていますが、現場に足を運んで問題点を理解され、現場の意見を大切に下さる方との差が感じられます。
- 議会報告等議員の活動を知る機会があるし、意見や要望も出せるから。
- 「広報いこま」と一緒に届けられる「いこま市議会のうごき」をいつも拝見しています。
 - ・各議員は質問を通じて活動の方向を示されていますが、現場に足を運んで問題点を理解され、現場の意見を大切に下さる方との差が感じられます。
- 議会報告のちらしが新聞折込に入っているが、知らされていない会派があるようです。
- 多様な意見を反映できる議会であってほしい。
- 大型開発事業のこと、緑が無くなっていくことに心を痛めています。又、周辺道路の渋滞などあり、歩道もない危険な道路が多すぎます。
- バリアフリーの基本構想設立、水道問題の説明要請に全会一致で議決。
- 議員が発行している情報(ニュース、たよりなど)を読んでいます。

3. 不満

- 活動しているのは選挙前の街頭で手を振る姿だけ。どこでなんの活動をしているかわからない。17年生駒市に住んで、税金にからむ何かが変わったのを聞いたことがない。学校のエアコンくらいか。
- 市民の声がまだまだ届いていないと思います。最近だと、他の市町村ではプレミアム商品券の発行やpaypay利用ポイント還元などを行っているところが多い中、生駒市は何一つこのような政策がなく、今のところ生駒市に住んでよかったと思うことが特にありません。ぜひ、他の市町村を見習っていただきたいです。よろしくお願いします。期待しております。
- 監視のための監視、反対のための質問が多く時間の浪費にしか見えない。反対するのはいいが、それならどうするか、政策を立案するか、何を指示したいのか明確にしなければ、投票行動も機能しない。市役所もいかに曖昧に回答して、物事を自分達の思う通り進められるようにするかということがうまい仕事の仕方と間違った心得で動いている人が多い。(ここは生駒市に限らず中央官庁含めて行政の文化になっているように見える。)それゆえ、議会動画を見ても、一体何が決まったのかわからず、ほとんど質問と回答が噛み合わないものを見せられているように感じている。一方現場は短い納期で議会のために細かい数字を調べて答弁書を作るために、年に2週間を4回、約2カ月間は行政遂行機能が大幅に低下する。それゆえ、変に議員に突っ込まれたくないがために、市民でなく議員を見て仕事をしているところもある。市民の意見反映も票田や一部の支持者の言っていることを代弁しているに過ぎず、全体感や予算感を見て発言できているように思えない。生駒市は団塊の世代が多く、法人税も少ない。今まで税金を払ってくれていた中心世帯が一気にもらう側に入る。4年でなく10年、20年先の生駒をどうするか本気で議論しなければ、子育て世代が定住するわけもない。また、問題が複雑化多様化する中で、議員という少数の人に判断を委ねることはもう実態に合わない。
- 政策立案が少ない。
- 議会活動が見えにくい。市民に対する情報発信が少ない。市民との意見交換会が乏しい。議員は何をしているかわかりにくい。議員は自分の意見を言わない。市民の声を議会に反映していない。市長への監視機能が弱い。市民と議員の交流を増加させる必要がある。通年議会とすること。政務活動費は廃止すること。もっと開かれた議会とすること。生駒市議会が全国の範となる議会運営をすること。議員の活動時間ではなく活動内容をもっと充実させること。市民は議会に対する信頼がないことをもっと真しに受け止めること。選挙公報に記載のこととやっていることとアンマッチ。選挙公報に抽象的な公約しか記載していない候補者がいる。議員が市民に対して議会運営の説明会を開催し、質疑応答に答える。いい仕事をするなら報酬を上げてもいい。もっと緊張感を持った議会とす

ること。議会基本条例の趣旨をいかすこと、作っただけ。市民の声を聴く機会をもっと作ること。日常的に議員の顔が見えない。議員は議会の中だけでなく市民の中に入っていくこと。各地の議会活動のいい事例を参考にすること。

- 1. 市民の声を聞くために少なくとも4定例議会の前後に議会又は議員として市民との意見交換会を実施し、生駒市としての課題を市民と共有すべきである。現在はまったくないといえる状況である。
 2. 議会、議員の機能は、条例(法律)づくりですが、議員立法が少なすぎる。
 3. 「議員になって〇〇を実現する」「〇〇を実現するために議員になる」という初志貫徹を望む。
- 生駒市の将来像(全体像)が抽象的で具体策がよくわからない。生駒市が随分荒廃してきているようで、農業、土地問題、商売、景観、教育、高齢化施策etc、成り行きまかせ。行政としてどう考え実行するのか？
- 生駒南第2小学校の廃校問題について議員の動きが見えなかった。行政や住民の動きを静観するのみで、将来の生駒市のビジョンを踏まえ積極的な発言を期待する。
- コロナ対策で、市立病院の電話がなかなかつながらず、ようやく予約できても、PCR検査の結果がわかるのに、日数がかかる。医療や福祉、教育に予算をまわして、改善する。
- 生駒市の行政が本当に市民の立場に立っているか疑問がある。高齢者の交通費補助では、より気軽に外出できる交通整備は進まず、たけまる号は200円(2倍)に。市立幼稚園問題では、地域の人と署名をして反対したが、本来、若者が住みやすい、子育てしやすい街づくりの立場でより充実すべきものを投げ捨てている。市民の声を聞く、いかすという点で、公共施設の民営化も含め、単に効率だけで進めている。
- 主な課題について、パブリックコメントなどで意見を聞こうとはしているが、そのまとめとなる市民の声がその課題について行政側から出された提案文書に本当にいかされたものになっているか、疑問である。幼稚園問題では市民が統合反対の声をそれぞれたくさん上げたが、それらの声が多数としていかされた行政側の提案分にはなっていなかった。結局、地域協議会を何回も開いて市民の思いを届けることになった。最初から市民の声を真摯に反映していたら、もっとスムーズにいったと思う。
- 障がい者福祉、南地区の問題について、当事者への広報はホームページでのみ公開(事務局に言わないとページが開けないものも有)され、不十分。パソコンをよく使う人、常にホームページをチェックする人にしかわからない。
- 日頃の議員の活動が見えない。選挙前にだけチラシが投函されている現状。
- 「いこま市議会のごき」には、議員の質問が記載されていますが、全項目の質問と回答が記載されていません。別紙でもいいので、すべての質問と回答を文書で載せる工夫をして下さい。
- 市議会の活動について、まだまだ不十分だと思われる。市民の意見を聞いて、市政に反映しているようにも思われぬし、政策の立案があまりみられない。生駒市をどんな市にしていくかしっかりビジョンをもち、財政に反映すべきだが何よりも生駒市のすべての世代に応じたビジョンを持っていないように思われる。
- 議会だよりやホームページを見ればわかるだろうが、より積極的に見ようということには、一般的にはなりづらく、各議員さんがどのような活動、発言、意見を持って行動しておられるか伝わりづらい。市政だよりは、読みやすく良い編集になっていると思うので、議会だよりの編集ももっと工夫していただきたい。
- 市議会議員は代議士。じっとしていないで、市民の声を歩いて、情報を集め聞くこと。それを市議会という集団で政策に変えていくこと、これを実直にして欲しいです。特に環境問題(開発)に対する市の主体的街づくりの意見の無さ。貧困(格差)対応。ひきこもり。障がい者の人権と生きる場を保障など市役所職員との対応なども含め、議員は把握に努めて欲しい。
- 市民の願いや要求を丁寧に取りあげる努力をしてほしい。財政がないという理由で、切り捨てずに市民のくらしにもっと目を向けてほしい。
- 市の行政、財政を市民の代理人として、キッチリ監視している姿が見えてこない。どの議員がどんな政策を提案しているのかわかりにくい。議員毎の政策提案リストを作成してはどうか。

4. やや不満

- 住民の利益や福祉向上の立場にきちんと立っているのかが疑問です。国政、県政をふまえ、それらを批判的に検証し、市民を信頼し、市民に寄り添い、市民の声なき声を聴き市民の幸福追求や利益追求の立場に立ちきってもらいたいです。議員の活動がみえにくいです。住民の立場や利益を守ることに立ちきっているのかが見えてこないのです。ただ、個々には、懸命にされている様子がわかり

ます。市議会全体として、住民の立場に立っているのかが疑問です。ただ、市民としても自分たちの命や暮らしを守るため、民主主義を発展させるため知恵をしばり、学び、力をあわせなければと思います。議会と市民が協力し、生駒の市民の命や暮らしを守るために共に努力することが必要です。

- 個々の議員の普段の活動状況、成果、実績等が見えにくい。
- 議会のうごき⇒字が小さく、要約がわからないことが多い。
HP⇒おっくう。まして議事録など。比較すると、特定市議の報告会など、主観を充分入れながら、経時、系列的に説明してもらおう(パワポをよく使われる)、よく問題点がわかる。
- 市議会のうごきが、広報の中に挟まれた書類のため、見落としたり、情報が遅かったりする。
- 大切な問題点、情報が伝わらないことがあった。水問題、バス路線廃止等、高齢化だといって生駒みたいな所にも押し寄せる過疎化の波？聞くところによると水の広域化？なんか議員さんも直近まで知らなかったとか？本当ですか。
- 一般市民には、よく理解できない。
- 県水道の一体化に生駒市が参加することがいつの間にか決まっていた。生駒市議会の議会報に載っていたかもしれないが、私は気がつかなかった。
- 議会の第一の責務は、住民の福祉や暮らし、教育、安全を守ることだと思います。例えば、「政策立案」する事について、各議員が住民生活に直接かかわる「条例」案の提案、提出をこの3年半余りの議会でされたのか？
- ゴミ収集の有料化、学校統廃合などについて、生駒市の動きが充分広報されず、その結果、決定してからあるいは決定しそうになってから問題に気づくことがあった。今回の議員定数削減についても、従来とは異なる方向性を検討する時には、もっと積極的に広報していただきたい。そうでないと住民自治の精神がいかされないと思う。
- 市議会議員が住民に対し議会活動の落とし込みができていない。活動が低調と感じる。
- 昨年の「生駒市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」において、17ページの総評にがっかりさせられたことを覚えています。ごみの有料化だけで魔法の杖のように問題が解決されると思い込んでおられたのでしょうか。行政の不作為を感じずにはいられませんでした。同様に、疑問をていする議員さんはおられなかったのでしょうか。
- 今の議員の考えが必ずしも市民の声を反映しているとは限らないから。
- 生駒市民全員がわかるように情報提供をお願いします。大切なことなのに告知が行き届いておりません。
- 市民の口コミで情報を得ることが多いため、告知を全市民がわかるようにしていただきたい。
- ・会派、個人の報告が見られるようになった。
・議員懇談会を通じ市民と直接交流を試みるようになったなど、前進面もみられるが個人差や設定の不十分さを感じる。
- ここ最近で、市50周年記念の打ち上げ花火に数百万の費用が使われたことでした。11月の寒い、花火は必要だったのでしょうか。夏の花火の鑑賞と違い、季節的にも必要なく、財政の無駄と感じたものです。反対に文化行事の催し物などには、市からの補助はあまりないと聞きます。会場費負担も大きなものです。そういう所への補助があってはどうか。
- 南小、南中学校の一貫校導入の問題。また地域開発の問題。まず住民の意見を聞き、十分な議論をして先へすすめることが基本だと思います。
- ・各議員の活動内容が市民へ伝わりにくい。
・県域水道一元化の問題の情報を知らせるのが遅く、発信の仕方に誠意がない。
・奈良交通バスの生駒―あすか野線の廃止の検討は「住みやすい生駒」の政策に逆行。
- 「子育てしやすく、緑が多く、住みやすい生駒」というキャッチフレーズだが、壱分北大型開発、幼稚園統廃合、生活保護問題、水道県域一体化など、市民の暮らしにかかわる問題について、市民の要望を聞いてきちんと議会で取り上げてほしい。市民目線で市長や行政のやることをチェックしてほしい。住民の声をもっと現場や”直”に聞いてほしい。足を運んでほしい。
- 広報での議会報告は議員の質問内容で実現したことなども報告していただきたい。
- ・水道の県統一化のこと。
・学校や幼稚園問題。
- 不満な点
・自然を破壊しての高山第二工区の開発。
・本人の同意なき自衛隊適格者名簿の提出。
・県域水道一元化問題に関する市民への情報発信が圧倒的に少ない。

- ・奈良交通バスのあすか野や高山町路線縮小廃止。交通手段は採算でなく市民生活の保障を
- ・多くの公共施設が市の直営から指定管理になり、イベントが多く市民活動に支障をきたす。
- 市民全員にわかるように告知をお願い致します。
- 市の広報も月 1 回になり、これに折り込まれる議会だよりは見っていますが、ネット難民には活動の情報が伝わらない。議員が町内路地まで歩き、住民に声かけ、話を聞いたりしている姿を見かけることがない。
- 環境モデル都市としてもっと取り組んでほしい。地球環境、気候危機を考える施策、生駒市として電力、食料の自給率を上げる施策、安心して暮らせる医療、介護をしてほしい。
- 市民の意見を把握し市政に反映する活動が弱い。
- 生駒市政の現状・課題と将来予測、それらに伴う市議会の活動について、コメントできるような知識、情報を持ち合わせておりません。全体として、以前と比べて、インターネットの利用で、情報の公開は良くなっているように思います。一層の努力を期待します。市民の関心を高めるために、議員活動個人の評価(あくまで自己評価)を年一回実施し、議会報に掲載すること、評価項目は「生駒市議会の活動」の 3 項目に沿って「特別委員会」をつくり、自浄作用が働くよう議員の良識で実施していただきたい。
- 市議会における質疑において、少数の例外の方を除いて、議員さんの行財政運営に関する知識が不足しているため、厳しくかつ適切な行政監視がなされていないように見受けられます。したがって、議員さん独自の視点からの市民のための政策立案には程遠い様に思われます。
- ひとつの例ですが、かなり昔から、生活保護の窓口が玄関のすぐ傍の、人通りの多い場所にあることに、大変心を痛めています。このように、市民目線で「明らかにおかしい」と思うことはいくつもあります。このようなことは、議員さんの方から、改善を図るための指摘をして頂きたいと思います。真に市民のための行政となるよう、常に市民の目線で現状を見て頂き、問題点に対して、厳しい姿勢で粘り強く取り組んで頂きたいです。

5. わからない

- 議会報を見ても、議員の指摘で何がどう改善されたのかが分からない。
- 親しくさせてもらっている共産党の議員からは、有用な情報を得ているし、活動の様子もわかっているが、市議会となるとわからない部分も多い。
- 議会が扱う問題は様々あり、そのすべてを掌握しているわけではない。

質問 6：生駒市議会の議員定数（現在 24 人）についてどう思われますか。

回答	件数	割合(%)
増やした方がよい	14	22.6
現状維持	37	59.7
減らした方がよい	11	17.7
わからない	0	0
無回答	0	0

質問 7：質問 6 の選択肢を選んだ理由をご記入ください。

1. 増やした方がよい

- 少ないと、市民の意見を反映できなくなる。議員一人でフォローできる範囲に限界があり、しっかりとした議論ができないから。
- 議員削減論には、議員の活動が見えていないというのがあります。必要なのは、市民に寄り添い、民意の把握と反映、行政チェック、政策提案という議員の仕事をきちんとする議員を増やすことです。それが、議会の活性化となり、市民の暮らしを守ることに繋がります。
 - ・今、社会が変化しています。それにともない市民要求が多様化し、行政の方々もたいへんだと思います。多様な市民要求を反映し、いろんな視点から行政チェック、政策提案を行うためには、さまざま

まな視点の議員が必要です。住民の暮らしを守るためにいろんな視点から議論され、行政に反映させ、市民生活を向上していくことが大事です。

・議員定数と人口の相関(生駒市以外の50市)からみた場合、生駒市の議員定数は多いとは言えません。

・10年先の人口減を理由に今減らす、はおかしいです。

・最小の経費で、最大の効果を上げるために議会がきちんと行政をチェックし、提案することが大事です。チェック機能が不十分になると税金の無駄遣いが増えます。議員を減らすと、行政チェックや市民の声の行政への反映の低下が起こります。・削減理由は、市民の声ということですが、市民の声には現状維持もあります。・議員定数のことよりも「もっと市民のために活動すること、きちんと活動すること」に時間をさくことの方が大事ではないでしょうか。

○71年から人口が増えても24人のまま。今後減るからと言って71年の時より人口が多いのだから減らす必要などさらさらない。こんなことに時間を使わず、考え決める事案は多数ある。

○自治体を民主的に運営するためには、住民全員が参加するのが理想だが、それは現実的でないの
で、住民の代表である議員を選挙で選んでいる。議員定数を削減すれば理想からさらに遠のく。まして生駒市の議員定数は他の自治体と比べ平均的で多いとは言えない。また価値観が多様化している現代社会では、多様な意見を集約するため多くの議員がいる方が良い。市政に対する不満を減らすためには、市の広報を充実させることが重要だと思う。

○定数削減は議会の硬直化(現職議員のサロン化)を招きかえって市政のチェック機能が低下する、また、若者や志を新たに政治に参加しようとする者を阻害する要因になり多様な意見が反映されにくくなりますので反対です。

○「いこま市議会のうごき」を拝見して、各議員が色々な問題を解決するために活動されていることがよくわかりますが、生駒市には、他にも解決しなければならない問題がたくさんあります。

・危険な道路、歩道が狭く対向者が来られるとどちらかが、車道に出て対向しなければならないこと。「竜田川」の鉄の橋(雨の日はすべて危険)。穴のあいた狭い橋。それを利用している子ども達の通学路。バリアフリー法が制定されているのに、なかなか実現していません。

・高齢化(市民)で高齢者の生活が大変です。物価が上がるのに、年金が減られ介護保険や医療費が増え不安になっています。

・高齢者は自動車の運転は危険だとのことで、自家用車を持ってなくなりました。生駒市の地形は坂が多いため、筋力の弱った足で歩くのが大変です。荷物の多いときはタクシーを利用しますが、タクシー代も値上がりしています。生駒市から支給される交通券はとても助かっています。以前1万5000円でしたが1万円になっています。来年はどうなるか心配しています。以上のように、課題がたくさんあり、現在活躍されている24名の議員さんだけでは足りないくらいです。2名を減らすことは考えられません。大阪で住んでいた私たちは、生駒市は緑が多く、生駒市が住みやすいということで移ってきました(40数年)。生駒市になって人口が3倍以上になったのに議員定数は24人のままです。住みやすい生駒市を保つために議員定数削減に反対します。

○市制施行当初から議員定数は変わらずにきているとのことですが、削減理由が、将来人口が減るとのことだが、人口増の時には増やさず、将来減るから今減らすというのは理屈にあいません。議員の活動は、市政が豊かになり市民が健康で文化的な生活を保障される、住みやすいまちづくりの上でも、欠かせない働き方を必要とされる人たちです。市民の要求も、コロナ禍、物価高、生活苦の中で多様となり、私たちの願いを聞いて、十分な討議が交わされ、政策化と結びついていく過程には、人数が少なれば議員の負担も過重となる、また、政策も実らず終わってしまいます。私たちの生活が、政治と結びつく大事な議員活動です。今の定数でも不足しているときえ思います。他県では(同人口ぐらいで比べても)、もっと多い議員で運営されているところも多くあり、増やしてほしいと思います。削減なんてあってはならないこと。人口増になるような、子育て世代にとって魅力的なまちづくりや、若者世代が根づくまちづくりの検討などどんどんつくってほしいです。

○市議会議員の定数については、多い方が市民の意見を反映できると思います。生駒市政が始まって以来、24名だときいてます。人口が増えているのに、せめて現状維持のまま24名がいいです。増やすのには賛成です。減らすのは、大反対です。

○私たちの声をより多くの人に聞いてもらいたい。例えば高齢になって介護や医療の相談等。議会で反映してほしい。

○奈良県下での議員定数人口比率で奈良市に次ぎ議員定数が少ないと聞きました。市民の声を聞き、情報を精査し、立案するために多数の意見と多面的にセッションして立ち上げるためには、もっと多くの議員がいても良い。市民意見の把握は複数ですることが大切。違う意見を大切にすること、そのためにも今よりも議員を増やすこと。44年生駒市民です。速いペースで変化した生駒市の

環境に、市行政、市民ともギクシャクしている観があります。緑豊かで水もおいしい、子育てしたい生駒。そう思い、暮らしを続けていきたい。生駒市議会の各委員会に望みます(実情知らずの意見であります)。市役所で責任を持つ部署と共に、これから実態把握に努めて欲しいこと。

①街づくり:最近多い、土地開発。主体的に環境デザインを明示し、道路の在り方、緑の確保、防災の見通しを明らかにしていくこと。

②①で人口が増えたら:保育、教育、こども園への方針:10年、20年を考えて、学校は地域住民と共に環境のことも考えて欲しい。

③福祉(格差社会の中で)→自ら言えない方々のために、生活保護、引きこもり、高齢障がい者の暮らし。代議士は聞く力、変える力。

○生駒市は奈良県下の市と比べて、人口比で議員が少ない市です。議員は住民の要求を市議会に反映させ市政が運営されていくものだと考えますので、減らすのではなく増やす方が良い。

○私は議員定数を減らすことに反対です。その理由は以下の通りです。

①議員定数を減らすということは、その分、市民の声が市に届きにくくなるということです。市民の声を聞き取り、市政に反映してくれる議員、市民の味方になってくれる議員が増えることを私は望みます。しかし、そうした議員が必ず多くの票を得るとは限りません。むしろそうした議員に限って、強力な後ろ盾がなく、資金力もなく、落選してしまうというケースが(一般的にですが)起こり得ます。そうなると、市民の声は市に届きません。議員定数を減らすことは、市政への市民参加ルートを狭めることに他なりません。

②議員定数を減らすことは、マイノリティーを切り捨てることにつながります。個々の議員は様々な層の利益を反映する存在です。少ない議員数では、マイノリティーの要求をすくいとることができません。政治はマジョリティーだけのものではありません。多様性重視の今日、マイノリティーに光を当てることがますます重要になっています。

③議員定数減は市民の要求—果たしてそうでしょうか？

8月にアンケートを取り、6割が「減らした方がよい」と答えたそうです。しかし、だから「議員定数減は市民の要求」と結論付けることには疑問を感じます。もちろん、議員定数減を求める署名活動を行っている人々がいることは知っています。しかし、その人々の、議員定数減を求める理由は何でしょうか。経費削減ということであるならば、真っ先に手を付けるべきは議員減はありません。また、議員を猫も杓子もひっくるめて「特権者」とみなし、「特権者」を一人でも二人でも減らすことで留飲を下げたい、というようなことであるとしたなら、政治というもののとらえ方を間違っていると思います。議員定数減を市民が心から望んでいるとは、私には思えません。市政の現状が見えないことの現れとして、アンケートの数字を見るべきです。

④人口当たりの議員の比率を奈良県内の他の市町村と比較した場合、生駒市は決して多くはありません。参考までに、人口当たりの議員の比率をしらべてみました(人口は2016年現在のもの)。奈良県内39市町村の内、議員の比率が生駒市より低いのは、奈良市、橿原市、香芝市の3市のみ。ランク付けすると、生駒市は36位ということになります。議員定数を22に減らしたなら、奈良市の次に議員比率の低い市になってしまいます。それでよいのでしょうか。市民の政治参加の度合いは民主主義の指標です。議員定数はむしろ増やすべきだと、私は考えます。

○新憲法の国民主権、住民が主人公の理念の下、1947年4月地方自治法が公布された。当時、地方議会定数は人口10万人では、36名とされていた。50年前、3町合併し生駒市が誕生、人口3万7000(約)名で定数24名としてきたが、70年代、80年代、全国2位の人口急増率で倍増、本来、7万、8万、10万の人口増に応じ、定数をはかるべきものである。人口比の分母が多く、その代議数が少ないということは、住民との接点も減少、住民の実情の把握、声、要望を聞く機会等も当然少なくなり、住民が主権者の立場が希薄化し、少数精鋭を是として、専行してゆく危険をはらむものである。今回定数削減を論ずるにあたっては、最大多数の住民自治の実現のため、どうあるべきかを優先されることを望みます。人口減少、経費削減などを理由とされているようですが、市誕生時に人口が激減戻るわけではないでしょう。令和3年決算での議会費歳出の0.7%は民主主義のコスト。住民に寄り添い、暮らしやすい生駒のために尽力されるならば、住民の理解、信頼が得られます。定数増 or 現状のままでもよいかと思えます。

○生駒市の自治体行政は、内閣府・行政省庁の意向・指導・命令で進めるものではなく、自治体住民と連携してその地域に見合った独自の行政を行うべきと思う。住民側も行政・市政に対する関心、参加がもっと必要とされる中、自治体行政と住民のつなぎ役である住民代理人の役目を果たす議員はもっと増やすべきと思う。我々の生駒市行政に多様性と独自性を持たせるためにも、胸を張って生駒市が素晴らしい自治体であると伝えられるようにしていきたい。全国の各自治体も同様に成ることを望む。

2. 現状維持

- 現状維持で良いが、仕事をまじめに考え、実行する、全体像を具体的に描き、計画的に実行できる人が一番望ましいので、そういう人がたくさん出れば議員定数はもっと増えてもよい(市民に還元される)。仕事をしない人が多くいれば減らせば良い。その基準が大事！数の問題でなく質の問題をもっと論議してはどうか！！いい加減な議員がいる、姿が見えない！！数だけ論議するのは市政を何も考えないのと同じです！！
- もし、財政的な観点でするといふのであれば22人分の歳費で24人に分ければいい。議員の調査や質問回数、質に問題があるとすれば、質問回数や活動の実態を明らかにし自覚をうながせばよい。
- 不都合は生じていない。波風があまり立たないように見えるのはかえって不気味。
- 議員は多い方が良いのですが、現状を急に変更も出来ない。(他の考え方の人と議論できてないの)でせめて、現状は維持してもらいたい。
- ①予算、条例を審議し決定するのに必要。②市の方針、取組をチェックするのに必要。③市民の声などを基に提案するのに必要。
- 人口減が定数減という議員は、4万から12万になったときに3倍と言ったのか。2040年までに11万の予想というが、4万を基準に考えれば3倍近くで、減らす理由はない。定数削減を言う議員は、「財政が大変で」と言うが、4万の時の財政はどうだったのか？「身を切る改革」のポーズをとることが目的で、市民の声をどれだけ反映しているか内容(行政の)のチェックにふれない本末転倒のパフォーマンスであり、厳しく抗議する。言うのなら、「4万時の24定数を増やすべきだが、財政のことも考え据え置く」ぐらいが当然である。こんなパフォーマンスのために、時間と経費を費やすことこそ、ムダというべきである。どうしてもというなら、削減を言う議員「自ら辞める」選択もあるとまで言いたくなる。また、今回のパブリックコメントの実施に関しての、資料の簡易版もなく、誰もが考えるものがない。本当に市民の声を聞く施策になっているか大いに疑問である。
- 生駒市では2015年頃まで人口の大幅増加を続けてきたが、その間議員定数は24人で一定のままであった。(これ自体、おかしかった！)。「将来、人口が減るから、今削減する。」は全く理由にならない。現状では、人口増の中でも増やさなかった24人の定数を維持すべきである。絶対減らすべきでない！このパブリックコメントを書くにあたって、たけまるホールに用紙を取りに行き、コメントにあたっての市の用意した文書はないのか？尋ねると、ドッサリ重い文書を見せられ「これ一部しかない」という返事。A4一枚でもいいから、今までの人口推移や問題提起など、コメントを出す際の資料となるものを用意すべきだと思う。市民の声を聞くにあたって、もう少し丁寧さが必要である。
- 本当は、市政誕生の時(生駒市民が3万人台)から、議員24名でスタートしているので、今の人口なら、もっと増やしてこそ、私たちの声が良く議会に届くと思います。今回減らすとかの声は、もってのほかです。最低、現状は維持してほしいです！
- 減らせばいいというものではない。多様な議員が必要で、市民の暮らしに役立つ議員かどうかです。
- 議会制民主主義の基本である議員を減らそうという発想が理解できない。議員が議員の仕事をしていないのなら、仕事をさせる仕組みを作るべき。議員の給料が高いのなら給料を減らせばいい。資料は議員を減らしたために、その理由付けのための世論操作するような資料を作っているようにも思える。
- 議会とは、執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施がすべて適法、適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視することだと考えます。今日、地域社会は激動する経済社会情勢の中で、日々進展し、変革している。議会も行政も的確に対処しなければならぬ。常に市民の中に飛び込み、住民の悩みと声をくみ取りながら、調査研究を進め、住民全体の福祉向上と地域社会の発展を目指し、その実現のために積極的に努力することが求められています。議員の定数を減らす論議よりも「市民の中に飛び込み、市民の声をくみ取りながら、調査・研究を進め、住民全体の福祉向上と地域社会の発展にどう議会として対応するのか議論を深め、具体的な政策立案等に力を注いでいただいた方がいいのではないのでしょうか。市政50年以上にわたり、人口が激増する中でも、市議会定数は24名のまま維持されてきた事は、評価するものです。
- 議員定数を減らすのは反対です。定数を減らすことで同じ顔ぶれの議員ばかりとなり、議会が硬直化しかえって市政のチェック機能が低下すると思います。また、ひいては多様な意見を反映することが阻害されることとなり、市民の政治参加を促すことと反対の結果を招き市政と市民の距離感を増大させることになると思います。少しばかりの議員報酬が削減できたとしても、結果として市民の利益には寄与できず、議員定数の削減はデメリットの方が高いと考えられます。

- 多様な意見を反映させるためには一定数の議員数が必要と思います。現状の議員数がいてくれた方が身近な存在として市政に市民の意見を反映させやすいと思います。議員定数が削減されればかえって市民の政治参加の意識が低下すると思います。
- 「議員定数の削減に関する請願書」をホームページで確認しましたが、定数削減自体が目的化しており、何の、誰のためなのか全く理解できません。普通に考えれば、市民にとって、削減される数だけ、その貴重な声を聴けなくなるというデメリットしか考えられません。それが民主主義の後退につながることを危惧します。行政改革ということであれば、定数削減ではなく、性別や年代別等に定数を設けるほうが、多様な声が反映されやすくなり、市民にとって利益となるのではないのでしょうか。
- 定数削減は議会の硬直化(現職議員のサロン化)を招きかえって市政のチェック機能が低下する。また、若者や志を新たに政治に参加しようとする者を阻害する要因になり多様な意見が反映されにくくなるから。
- 定数削減は議会が硬直するおそれがあり、市政のチェック機能が低下する懸念があること。議員たちは、法律や条例という「とても重要なルール」を決めるので、本来は、議員が多いほうが英知や知見が集まりやすくなり、よい効果を生むと思います。更に地方議員の数が減少してしまうと1人の議員にかかる負担がかなり増加してしまいます。そうなると市政が停滞し、住民に悪影響(街の危険な空き家が放置されてしまうなど)を及ぼすことになるでしょう。議員定数を削減することにはリスクが常につきまといます。また若者やころざしを新たに政治に参加しようとする者を阻害する要因になり多様な意見が反映されにくくなりますので反対です。
- 減らす意見には、何をしているか分からないというものが多いと思われる。
 - ・問題は議員が市民の立場に立って地方自治をより豊かなものにしようとするかどうかであり、議員を減らして実現するものではない。
 - ・生駒市は誕生当時から24の定数、大幅な人口増の折も増えていない、他の同規模の自治体に比べても決して多くはない。
- ①議員定数をさわる意見がわからない。生駒市の予算の問題なのか他の問題なのか。
 - ②市の人口は、11万8000人。5000人に1人の割合で議員を出すなら、24人は適正な数字だと考える。
 - ③議員感覚での定数いじりはやめるべきである。
- 減らしたら、今よりもっとひどい議会になると思われる。しっかり議員活動していないから、減らすというのならよけいに減らしてもらっては困ります。(居眠りをしている議員を見かけます。注意すべきだと思いますが、自覚を持って議会に参加してほしい。)
- 人口からして今の定数が多いとは思わない。市民の意見をより反映するには、一定数の議員は必要。より多い人数の方が、様々な意見も出され、より議論が深まると思う。議員自身が定数を減らすことに賛成することは、自らの役割についてどう思われておられるのか疑問を感じる。
- 少なくとも各議員においては、住みやすい生駒(子どもから高齢者、女性が安心して)のために、広く市民の要望を聞いていただきたいと思います。
- 基本的に市民の様々な要求は議員を通して市政に反映される。多様な市民の声を反映させるには現在の議員数でも少ないくらいです。50年前人口3万7439人で生駒市制が発足しましたが、50年間で人口は約12万人にもなりましたが、議員定数は24人のままです。各議員が市民と密着し常に市民生活向上のため職責を果たすことが前提で、一人の市民も取り残すことがないように、少なくとも議員定数を減らす必要はありません。
- 市民の考えを反映してもらえよう、多くの希望・意見を議会で議論していただくため削減は反対。
- 現在より人口の少ない時に設定された24人。もっと増えてもいいくらいです。定数削減は反対です。
- 議員定数を減らすことの最大のデメリットは、少数派の民意を反映させづらくなることです。弱者は少数になりやすく、そして少数の弱者は、議員定数が減ると自分たちの代表者を国会や地方議会に送り出せなくなります。それは少数弱者の意見を封じることを意味します。また、議員の数が減ると国会や地方議会の力が弱まり、首相や知事、市区町村長の力が強くなります。すると恣意的な条例などが制定しやすくなります。国会や地方議会には、首相・知事・市区町村長や行政機関、行政職員を「牽制」する役割があるので、その力が弱まれば国民や住民に不利益がもたらされる可能性があります。
- 1)全国的に見て12万人都市で24人は中庸である。
2)生駒市の財政は黒字で議員を減らす理由はない。
3)多様な市民要求が反映されるよう。
- 市民の要求を多くの議員に届け、議員さんが議会に反映していくことが大切だと思っています。

- 人口が減るので議員を減らすのは安易。人口が増えてきた生駒市が議員を増やしていない。議員を減らして市政がよくなるとは思えない。もっと市のことを考える多様な意見を反映できるような議会を望みます。
- 何でも減らしたら良いという風潮がはびこっているが、それに迎合する動きは市民の声を封殺することにつながり、議会の本来果たすべき役割を放棄することになり自殺行為である。議会は行政をしっかりチェックし、市民の声を市政に反映すべき提案をやるのが大事である。生駒市政が人口3万人でスタート。今日12万人近くになっているが、議員定数は「24」のままです。「将来人口が減るから削減」と提案されているが、10数年先の人口減を理由に、議員定数を削減する理由とはならない。多様な市民の声を反映していく点からも、又、活発な市議会の議論をしていく点においても、議員定数「24」現状維持すべきです。
- 議員の定数、報酬については、人口減少、行革への協力、少数精鋭や選挙対策として削減に期待する声を聞きますが、市制50年この間人口は3倍以上の増加ですが、議員定数の増加はありません。議会機能の維持・充実をさせていくことを優先し、慎重に臨まれることを期待します。
- 議員定数を減らしても、少数精鋭とはならない。定数を減らすことで、市民意見を把握し市政に反映すること、行財政が適正に運営されているか監視すること、政策を立案することなどが少なくなるため。
- ゆずって現状維持。むしろ問題だらけなので、できれば増やした方がよいくらいだと思います。市のお金は、困った所に回すように使い方を工夫して下さい。削減ばかりでは住みにくい生駒になると思います。削減がどうしても必要なら、定数ではなく議員報酬だと思います。
- 選挙で決めるので、どうしても各政党ばらつきはあると思いますが、住民ひとりひとりの声を聞いて、市政に反映させていただくためには、議員さんの数はあまり少なくしてはいけません。とにかく市民・住民の声をしっかり聞いてほしいです。
- ①45年前に転居してきたが、その時の議員数(24名)が人口が4倍になっても同じである。増加しても良いくらいなのに、減らす理由は全くない。
 - ②議員は市民の要望等を議会に届け、それを実現していくのが本来の仕事である。議員数を減らしたから暮らしが良くなるのとは関係ない。減らしたら益々市民の声が議会に届かなくなる。
 - ③税金のムダをなくする為に、議員を減らすと言っているが、それは間違いです。議員の仕事を理解していないか、仕事を軽視しているかです。
 - ④もちろん、市民はしっかり働いてくれる人を議員に選ぶ責任があります。
- 生駒市の有権者に対して、議員数は多いと思わない。減らすことには、反対です。
- 昨今、議会側からの改革として、議員定数の削減が持ち出されることが多いように思います。しかし、議論を議員定数に矮小化するのではなく、まず、議員の皆様のスキルアップや議会の運営方法の質の向上に取り組んで頂きたいと考えます。議員さんが、地方行財政制度及び国・県・他都市の動向等を十分に把握して頂けるよう、議会事務局においてツールの開発等工夫していただけないでしょうか。また、従来の委員会方式で審議検討するだけでなく、より柔軟な手法をお考えいただけないでしょうか。そうして初めて、議員さんが、生駒市が取り組んでいる又は取り組むべき課題について議会で質して頂くことができ、実りある施策の実現につながるのではと思います。このように行政監視能力を存分に発揮していただくことで、市民にとっての問題点や必要な施策が明らかとなり、議員の皆さんからの政策立案、条例の提案にも結びつくのではないのでしょうか。人口減少・高齢化は喫緊の課題であり、その対応は国や地方自治体においても暗中模索の現状だと思います。生駒市の市議会議員の皆様は、市民のためにまじめに仕事に取り組んでいただける方たちだと信じておりますので、まず、議会運営の改善から取り組んでいただければと存じます。
- 議員数を減らすことには、強く反対します。市民が「取り組んでほしい」、「解決してほしい」と思う問題はたくさんありますが、「頼みに行こうと思える人(議員さん)がいない」という話も何度も聞いたことがあります。このような市民の声が出てくるということは、つまり、数ではなく、議員さん一人一人の活動力を上げることが大切なのではないのでしょうか。議員を1人2人減らして浮いたお金が、いったいどれほどの役に立つのでしょうか。本当の市政改善は、そのようなわずかな経費から生まれるものではないと思います。生駒市がよりよくなるのであれば、むしろ、議員定数を増やして頂いてもよいのではないのかとさえ思います。

3. 減らした方がよい

- 毎回毎回、所属の党を変えている議員がいる。信念もなにもない。定員が多いから訳の分からないやつが当選する。イベントに顔を出して、議員バッチつけて大きい顔をしているだけの議員はいらない。年寄りや、未来の子供のための施策をしっかり打ち出し、活動実績を毎月市民に知らせてほし

- い。政務活動費は本当に必要なのか。年間の収入に似あった仕事をどれだけの議員がしているのか全く伝わらない。医療従事者が毎日、コロナ患者の報告書を作成するように、議員もせめて毎月、どれほどの活動をして、どれほどの実績をあげたか、伝えるべき。重鎮が幅をきかせて、当たり前のように先生と呼ばれて喜んでいるのは時代錯誤。奈良県一、人口が毎年増えている生駒市ならではの、抜本的な改革を期待します。子どもたちの未来のために税金を使って下さい。子どもたちが将来、私たち大人を支えます。大人ではなく、子どもにお金を使う議員をのぞみます。
- 多ければいいということでもないので、良い政策がないのであれば市議会議員の人件費を削減して頂きたいです。
 - 議員に予算投資するより、こういうパブコメをwebに載せただけでやりましたと済ませるのでなく、現役世代にも届くようなネットでのアウトリーチをできるインフラづくりに投資した方が有用。昔と違って一定市民が直接声を届ける手段はある。機能していない議会制民主主義より、分散型自律組織DAOの要素を多分に組み入れて、ソフト系事業は地域に任せていくのがいいと思う。インフラ等、国、県、市、広域に長期高額投資が必要なものを優先的に行政は注力するのがいい。生駒市はソフト事業をよくやっている。一部やりすぎている点がある。都市計画、医療、上下水道、電気、ガス、エネルギー、資源(ごみ含む)等々、個々人や地域単位ではどうにもしづらい点をきちんと政策を明示して、選挙や通常行政を行うのが良いと考えている。
 - 少子高齢化が進み人口減少が進行する我が国にあって、現在11万8千の生駒市も今後、人口減をまぬがれないのではないかと。そうした中、市議会の議員定数が現在24名とあるのは、市の規模、政策課題の質の点からみても多すぎる。20名位が適正と考えるが、一挙に4名減はマイナス影響もあるかと思われるので、今後、段階的に減らしていくべきであろう。当面、片山議員をはじめ有志議員らが提唱している2名削減案に賛成である。単なる生活資金のため、箔付けのため、名声欲しさのためだけに議員になっているような人には退場してもらわねばならない。見かけの実績づくりだけのパフォーマンス市政も困るが、少数精鋭で効率を高め、着実に実質的成果をあげうる議会運営体制に変革していってもらわねばならない。削減反対の議員には説得力ある反対理由の開示を求めたい。さもなくば既得権維持のお手盛り市政運営といわれても致し方ない。
 - 議員数は減少する必要がある。少なくした方が議員の活動が見えやすい。個々の議員の責任感が高まる。22名ではなく18名程度が妥当。他市の状況を見てわかる。多くの自治体は減少させている。生駒市は人口減少が続いている。議会運営費用が少なく済む。総額では大きな影響はないが、その姿勢を市民に示すこと。議会活動時間は、極めて少ないし、何をしているかが見えない。定数削減でいつまで議論をしているのか、不信を招く。もっと、さっさと決定すべき。時代の先取りを取り組む姿勢が欠けているため、市民の満足度は低い。市民の前で議会運営の説明を行わない議会は、存在感が低くなる。厳しい意見を記載しているが、多くの市民はそう思っている。市民から評価される議会にする気概を示すこと。それがなければ削減につながる。少なくとも22名にすること。議員各位の奮闘に期待する。
 - 議員が任期中に辞職等により欠員が生じて、生駒市議会活動に何ら支障を生じていない。減員の報酬額を弱者救済などにあてるべきである。
 - 定数を減にすると各委員会が満足に機能とよくいうが、内容をよく議論すると、大幅減と、生駒市自治単位大区分から各1名サブ議員を選出する。市、議員、住民これら3つがうまく混ざり合う。例えば、民生委員、自治会、市長が一体となり、高齢化社会、少子化社会を支える。
 - 今回の生駒市議会議員定数の削減について賛成します。隣の大東市(ほぼ生駒市住民規模と同等議員数17人)に比べ現在の24人は多すぎます。4~5名減の20人前後が良いと思います。
 - 日本全体で人口減少化が続いている中で自治体だけでは無く、国会議員についても議員数を削減すべきと考えます。生駒市としても、全国の自治体の状況を確認すると共に、人口一人当たりの議員数が過去と比較し適切であるか、議員削減数を判断するべきかと考えます。
 - 多すぎる。今の半分で十分。例:ロサンゼルス(人口約450万人)の市議は、15人。
 - 生駒市も少子高齢化が進み社会保障費用は今後ますます増大していきます。この様な背景の中で市民生活に負担を掛けず出来る即戦力として、「議員定数の削減」があります。議員には、支払われる歳費以外に、交通費、議会事務局経費、関連部局の対応等多くの費用が発生しています。現状24人ですが順次削減し24→22→18→12人までにすべきです。現状24人からまず22人にし、最終は半減の12人にしても現状と変わらないと思います。議会での発言時間は人数が半分なので2倍になりやる気のある議員はしっかり質問が出来て充実します。一般的に議員が削減されると市民の声が届かなくなると言う声がありますが、声が届くかどうかは人数の問題では無く誰に言うかです。議員が削減されてもその中で支持する議員に意見を言えばいいだけです。私は早い機会に生駒市議会12人の精鋭体制が出来ることを望みます。